DMR-USBZ1 に関する質問事項

以下は PANASONIC 相談窓口への DMR-USBZ1 に関する質問事項です。質問は、PANASONIC の指定する HP 内の問い合わせフォームから実施しました。

第 1 回質問事項
【1】アンテナ入力端子・アンテナ出力端子や電源端子がカタログ（2016 夏版 P24）の図面で見つかりません。
【2】同軸音声出力フォーマットはどうなっていますか？
録画再生、CD 再生、Storage として使った場合それぞれについて。
【3】関連して、アナログ出力はどのようなフォーマットでも DAC により 192KHz32bit で変換されて出力されると理解していいですか？
【4】Storage として使った場合に DSD 再生が可能ですか？
【5】BZT9000 と比べて音質面はどうですか？真空管的な音質設定はなくなったのですか？
【6】ネットワークに接続するので、モバイル端末（iPad）により室内で見るのにはアプリのインストールだけでいいですか？
【7】アプリはどこからダウンロードするのですか？
【8】Storage として使った場合、同軸ディジタルやアナログ出力で再生は可能と思われますが、ネットワーク接続で同じルーターにつながっているネットワークプレイヤーで再生可能ですか？　その場合、DAC の受けの能力にもよるが、送り出してしてはどのようなフォーマットまで可能ですか？
【9】ネットワークに接続するので、モバイル端末（iPad）により外出時に見るにはアプリのインストールだけでいいですか？現在、PANASONIC クラブの会員になっています。
【10】再生音質や IoT 関係に詳しいカタログや相談窓口はありませんか？

第 2 回質問事項
【11】【4】DSD 再生についてのご回答に関して、パソコンと DMR-UBZ1 の接続は USB か LAN ですか？
【12】【5】DMR-BZT9000 との音質の差についてのご回答に関して、ハイクラリティサウンドとはどのようなものですか？どんなメリットがありますか？
【13】【6】モバイル端末での宅内視聴についてのご回答に関して、ディモーラとは何ですか？登録の手順は？

第 3 回質問事項
【14】ディモーラは TV 番組の紹介サービスで、録画番組を再生することとは、関係ないのではないですか？「外からどこでもスマホで視聴」の冊子、並びに総合カタログ 2017 夏 P12 によれば、Club Panasonic ID によるログインで可能なようになっています。また、P10 ではアプリさへ DL すれば、TV 番組が見られるようになっており、ディモーラの説明は一切でてきませんが？
ちなみに、上新電機西宮店に派遣されていた PANASINIC 説明員は一切当方の知りたいことに答えることはできませんでした。

第 4 回質問事項
【15】【2】のご回答に関して、録画番組の音声出力フォーマットは「PCM」とだけ回答されていますが、「PCM」(2ch、48kHz)で良いですか？同様に DVD 再生も「PCM」(2ch、48kHz)で良いですか？
CD リッピングについての回答がありますが、総合カタログ 2017 夏 P35 によると、CD リッピングもハイレゾリマスターもできないようになっていますが？ ご回答内容と食い違っているのではないですか。
【16】【3】のご回答に関して、「192kHz/32bit」または「176.4kHz/32bit」での出力ということは、元が 48KHz の場合（録画/DVD）はアップサンプリングで「192kHz/32bit」に、元が 44.1KHz の場合（CD）はアップサンプリングで「176.4kHz/32bit」になるということですか？
【17】【14】のご回答に関して、ディモーラの登録が必須とのことですが、「外からどこでもスマホで視聴」の冊子、並びに総合カタログ 2017 夏 P12 によれば、Club Panasonic ID でのログインで可能なようになっています。両方の登録が必要なのか、ディモーラの登録だけで良いのか？カタログ類にディモーラの記載がないのは問題ではないですか？

第 5 回質問事項
【18】【16】アナログ出力についてのご回答に関連して、揚げ足を取るわけではありませんが、48KHz の音声は「192kHz/32bit」に、44.1KHz の音声は「176.4kHz/32bit」で、DA 変換して出力するわけですね。関連して S/PDIF ディジタル出力はアップサンプリングできないと推測していますが、それでよろしいですね。
【19】HDD/NAS への音楽ファイルの Load について、ハイレゾ音源などの音楽ファイルの Load は、【11】のご回答より、PC から USB 経由での再生用としては実施できず、PC からのスイッチングハブ経由、ルーター経由、直接の LAN 接続など、LAN 経由で実施するものと理解していますが、それでよろし

いですね。
【20】NAS に Load した音楽ファイルの再生に関して、【19】により NAS に Load した音楽ファイルの再生は LAN 経由のネットワークプレイヤーでの再生となりますが、これとは別に 192KHz までの PCM 音源ならアナログ出力経由で、48KHz までの PCM 音源なら S/PDIF ディジタル出力経由で再生できますでしょうか？

第 6 回質問事項
【21】【5】DMR-BZT9000 との音質の差についてのご回答に関連して、DMR-UBZ1 にも「真空管サウンド」の音響効果の機能を搭載しており、DMR-BZT9000 と同様の設定が可能とのことでしたが、マニュアルの音声設定の項にも、音声設定の画面からも「真空管サウンド」の設定の項が見つかりません。本当に「真空管サウンド」の設定が可能なのでしょうか？
【22】音声の DAC への S/PDIF 出力ができなくて苦労しました。マニュアルの P175 のディジタル出力に関して PCM を選択することをきちんと書いてください。
【23】【15】同軸ディジタル端子の音声出力フォーマットについてのご回答に関連して、「CD リッピング」については、DMR-UBZ1 には搭載していない機能とのことでしたが、「メディアを使う」のところで CD 再生を行うところがあります。ここのところで黄色ボタンにより CD の HDD 録音が可能という表示があり、実際に録音が可能でしたが、録音したものの再生方法が分かりません。録音したものの再生ルートを教えてください。なお、「メディアを使う」では、BD と DVD しか表示がないので、CD は駄目かと思ってやってみたら再生できました。画面表示は正確に表示してください。

第 7 回質問事項
【24】ディモーラの設定に関して、ネットワークの設定を行い、無事終了し、ディモーラの設定にとりかかりましたが、不慣れなリモコンからの ID/PW の入力に手間取り、タイムアウトになってしまいました。再度、ディモーラの設定を行いたいのですが、ディモーラの設定画面を探すことができません。ディモーラの設定にたどり着く手順を教えてください。なお、マニュアルにはディモーラの登録設定にかかわる詳しい記述はみあたりませんので、ディモーラそのものの詳しい説明をお願いします。なお、iPad への Panasonic Media Access のインストールと WiFi 接続は完了しています。
【25】NAS としての認識に関して、ネットワークの設定を行い、マニュアル P181 のファイル共有サーバー設定でファイル共有サーバー機能を「入」にし

ているのですが、PC からも、ネットワークプレイヤーのアプリからも、NAS として認識してくれません。NAS として認識させる手順について最初から手順を教えてください。ネットワークへの接続はできているようでファームウエアーのアップデートはできました。
【26】受信感度に関して、地デジ放送の受信感度に関しては、従来から BZT-9000 でも NHK 総合と教育 TV は入りにくく、ブースターを入れても、映ったり映らなかったりしていたのですが、さらに受信感度が落ちてまったく入らなくなりました。この問題の根本原因は NHK 側にあって電波強度を NHK に測定してもらったのですが、限界すれすれの強度であり、総務省の電波の割り当てと背後に六甲山系をかかえている地域的な問題に由来します。なお、その他の地デジ局や BS 放送に関しては問題ありません。お聞きしたいのは、BZT-9000 に比べて UBZ1 の受信感度が悪いのかどうかということと、UBZ1 の設定で何かカバーする方法があるのかということです。

第 8 回質問事項
【27】【21】真空管サウンドについてのご回答に関連してですが、音響効果の「真空管サウンド」の設定を見逃したのは、目次にも索引にも「真空管サウンド」の設定に関する語句が出てこないからです。目次にはツリー構成として、下位の項目も記載し、索引の記載項目も充実すべきと考えます。また、音声関係は、ハイクラリティ設定と同じく、初期設定の音声設定に一括して記載する方が妥当と考えます。ご説明に従って「真空管サウンド」を実施して不明の点があれば、また質問させていただきます。
【28】音声設定のハイクラリティ設定ですが、マニュアル P175 の説明が不十分で何をどう設定するとどのようになるかが具体的に分かりかねます。設定画面でも同様です。個々のハイクラリティ設定について設定内容とその結果について具体的にご説明ください。
【29】【28】と同様、マニュアル P101 の音質効果設定のリマスター、音質効果周波数、DSD-PCM 変換周波数設定、DSDLPF 設定についても具体的なご説明（どの局面で何をどう設定するとどのようになるか）をお願いします。今後のファームウエアーの改善方法としてはプルダウンメニューなどで説明を加える手があります。DSDLPF 設定などは何の記載もないので、これで理解しろというのは無理というものです。
【30】【23】音楽 CD からの録音(CD リッピング)については状況を理解しましたが、設計思想には賛同しかねます。「動くアルバム」の BGM 用ということですが、動画に関心のある人が、わざわざ音楽 CD の録音をするでしょうか？音楽 CD の録音は音楽フアンの重要な関心事であり、在来機種では可能であ

り、また下位機種でも可能な機能を棄却した意味が理解できません。ファームウエアーの改善により録音した音楽のみを聴けるようにしていただくことを希望します。

第 9 回質問事項

【31】【24】ディモーラの機器登録のご回答に関連して、教えていただいた機器登録の手順で、登録画面表示が見にくいのを我慢しながら、CLUB Panasonic の ID・PW を使って機器登録が終わりました。また、ご説明にはなかった、ディモーラ登録完了のメールも受信しました。iPad にはすでに Panasonic Media Access アプリを入れていましたので、iPad により、宅内視聴で放送中の番組をみることができるようになりました。ただし、受信可能番組の局は【26】受信感度の記載内容と同様です。ところが、録画済番組を見る方法が分かりません。また、宅外視聴の方法も分かりません。これらの手順を追加で教えてください。Diga 総合カタログにしろ、「外からどこでもスマホで視聴」冊子にしろ、簡単にできるということを強調しすぎて、実態と合っていませんし、ディモーラの詳細も書かれていません。正確な情報提供という点では困った状況です。

【32】【25】ファイルサーバー機能設定のご回答に関連して、ご教示いただいた、家庭内ネットワーク(お部屋ジャンプリンク)の設定を終わり、「ファイル共有サーバー設定」から「パスワード設定」でパスワードの設定を終わりました。この後、PC からネットワーク内の NAS として認識されている、DMR-UBZ1 を指定して認識させようとすると、資格要件の入力が要求されます。パスワードの入力だけかと思ったら、意味の分からない項目の設定も要求されます。おそらくご教示いただいた手順に抜けがあるのではないかと愚考します。抜けのない手順で、かつ仮想の英数値を入力するように具体的に示していただければ助かります。

【33】【26】受信感度のご回答に関連して、教えていただいたとおりにやってみましたが、アテネーター切の方のレベルが上がりますが、受信状況は変わりません。状況を下記に記載します。

チャンネル	受信レベル	受信状況	BZT-9000 受信状況
1 チャンネル	25～26	まったく映らない	ときどき映る
2 チャンネル	26～27	まったく映らない	大体映る
4 チャンネル	41～42	映るときがある	問題なく映る
6 チャンネル	25～36	ごくまれに映る	問題なく映る
7 チャンネル	44	問題なく映る	問題なく映る
8 チャンネル	48～49	問題なく映る	問題なく映る
10 チャンネル	53～55	問題なく映る	問題なく映る

上記より受信状態にBZT-9000と差があります。高分解画像を達成するために、従来機より、高いレベルの受信電波強度をもって不足ビット数の補正を行うようなアルゴリズムを採用しているからではないでしょうか？
並行して受信不良問題を解決する専門業者と別途コンタクトを取るように考えています。
【34】【27】取り扱い説明書の表記のご回答についてですが、UBZ1くらいに機能が多様化すると1冊の取説でカバーすることが難しくなることは理解できます。従って、一通りの内容を書いておいて、詳細内容については、相談窓口に連絡、それぞれの希望項目毎の追加マニュアルのサイトの記載、あるいは希望者への郵送やFAX送信などでカバーするのはどうでしょう。そういったことをマニュアルに注釈で書いておけばいいと思います。取説に詳細に書かれていないことを、「裏技的」に一々窓口で聴かないと知ることができないのは、双方にとって時間と手間の無駄というものです。
【35】【29】音質効果設定のご回答に関連して、リマスターおよび真空管サウンドの意味と手順について理解しましたので、録画再生とCDの再生でいろいろ試してみました。一応、音質効果周波数を192/176.4KHzに設定し、リマスターの強・標準・弱と真空管サウンド6段階を変えてみたところ、微妙に音が変わり、リマスター強ではエッジの効いた音になり、真空管サウンドの段階を上げていくと音がソフトになり、上げすぎると音が鈍ってきます。好みとしては、リマスター標準くらいのところかなという程度です。
なお、DACの窓の表示を見ていると、音質効果切ではDACの表示は48KHzですが、それ以外の選択では96KHzにアップサンプリングされます。CDの再生においても、音質は同様の傾向がみられますが、音質効果切ではDACの表示は44.1KHzですが、それ以外の選択では88.2KHzにアップサンプリングされます。リマスターおよび真空管サウンドの音質効果設定でアップサンプリングされることはマニュアルにも記載されず、先のご説明にもなかったのですが、それでよろしいのですね。
音質効果設定リマスターおよび真空管サウンドの選択では、音声設定のはっきり再生設定を切らないといけないというメッセージが出てきました。このことは、マニュアルにも、これまでのご説明にもでてきませんでした。はっきり再生設定を先に実施していたので、余分な手間がかかりました。
なお、DSD関係については音源のloadができるようになってから実施します。
別項の「ハイクラリティサウンド」の効果は、つかみどころがない感じですが、じっくり試してみます。

第 10 回質問事項
【36】【31】Panasonic Media Access での録画番組の視聴方法のご回答に関連して、教えていただいた手順で、1 から 4 までを実施しますと ID/PW を要求されます。その必要性や何のことか分からないので、一応 PANASONIC 倶楽部の ID/PW を入力すると、ペアリングの期間限定の表示が出て、録画番組の表示がでました。しかしながら、録画番組一覧では、録画済 4 番組のうち、2 番組しか、出てきません。検索をかけてみたり、いろいろやってみましたが、2 番組しか出てきません。しかしながら、繰り返しているうちにすべての録画番組が表示され、再生が可能になりました。
まず、教えていただいた手順に ID/PW を要求されるステップがなかったこと、すでに PANASONIC 倶楽部あるいはディモーラの ID/PW を入力して、放送中番組を見れるようになっているのに、録画を見るためにさらに ID/PW を入力する意味が分かりません。また、限定期間が過ぎればどうなるのでしょう？せっかく録画した番組が見れなくなるのでしょうか？不要な作業を追加することはやめるべきですし、期間限定もやめた方がいいと思います。合わせて録画済番組すべてが録画一覧に出てこないことが再現した場合の解決方法を教えてください。上記については Panasonic Media Access のサイトを参照しましたが、解決の糸口らしいものは見当たりませんでしたし、このサイト自体の説明も分かりにくいものでした。
【37】【31】Panasonic Media Access での録画番組の視聴方法のご回答に関連して、宅外視聴についてですが、インターネット接続のことは自明のことであって、期待した回答になっていません。マニュアルの P184 にある宅外リモート接続設定あたりが関連する手順ではないかと思いますが、分かりにくいので、手順を追って抜けのないご説明をお願いします。
【38】【32】ファイル共有サーバー機能のご回答に関連して、教えていただいた手順でユーザー名入力欄には「DIGA」、パスワード入力欄には任意で設定されたパスワードを入力し、「OK」をクリックするのですが、「ユーザー名またはパスワードが間違っています」のメッセージが出て、それ以上進みません。このとき、画面表示は OWNER￥DIGA になっています。PC は Toshiba の Windows 8.1 の 64bit iCore7 機で、PC 画面のネットワークのところには、もちろん DMR-UBZ1 の表示が出ていて、そこのクリックから入っています。教えていただいた手順について何か間違いがあるのではないでしょうか？
【39】【33】受信感度についてのご回答に関連して、宅内アンテナ配線が旧型モデルなので、電気店で新しい 4K8K 対応というラベルが貼ったものを駄目もとで買ってきて交換したところ受信感度の数値が向上し、受信状態は改善されました。NHK は BZT9000 の時くらいに戻りましたが、受信状態の数値が低いこ

とは変わらず、これは NHK の電波強度自体の問題であり、アンテナの受信感度やブースターの交換などの検討を行っていきます。UBZ 1 をオフにしての TV のみの受信も同様に改善され、iPad の放送中番組視聴も改善されました。アンテナあるいは宅内配線についての注意事項があったら教えてください。
【40】【35】音質効果設定のご回答に関連して、音質効果周波数を 192/176.4KHz に設定し、リマスターの強・標準・弱と真空管サウンド 6 段階を変えてみたところ、録画再生では、DAC の窓の表示を見ていると、音質効果切では DAC の表示は 48KHz ですが、それ以外の選択では 96KHz にアップサンプリングされます。CD の再生においても、音質効果切では DAC の表示は 44.1KHz ですが、それ以外の選択では 88.2KHz にアップサンプリングされます。すなわち、音質効果周波数上限の 192/176.4KHz までにはアップサンプリングされません。96KHz24bit、あるいは 88.2 KHz24bit のディジタルファイル音源なら上限の 192/176.4KHz までアップサンプリングされるのでしょうか？音質効果についてアップサンプリングされる条件を整理して教えてください。なお、音質自体は、録画あるいは音源の同一比較を行ったところ、録画再生も CD 再生も BZT-9000 に比べて UBZ1 は数段向上しています。

第 11 回質問事項
【41】発信元はディモーラ noreply@desk.dimora.jp にて[ディモーラ]宅外視聴 機器登録完了なるメールが送られてきましたので、これに関する質問です。これは、単なる機器登録者に対する有料サービスの案内という解釈でいいのですね。当方が必要とするサービスは、宅内での放送中番組と録画番組の視聴と宅外での放送中番組と録画番組の視聴であり、それ以上の便利な機能は当面必要としていませんので、無料のままの登録でいいと解釈しておいてよろしいのですね。現在のところは無料で便利な機能が体験できるというお誘いと考えてよろしいのですね。
なお、問い合わせサイトの問い合わせ終了後、画面を「閉じる」をクリックしても閉じません。

第 12 回質問事項
【42】【36】Panasonic Media Access での録画番組の視聴についてのご回答に関連して、当方も試行していましたところ、録画番組のリストの更新に時間がかかることが分かりました。何回か繰り返して、更新アイコンをクリックすることで解決しました。
ペアリング期限の更新については理解しましたので、そのような事態になったとき試みます。音楽番組の録画は貴重であり、ウイーンフィルの NY コンサー

トなどは永久保存にしていますので、放送サービス高度化推進協会規定は非常に困ります。別途本協会に意見具申を検討します。
【43】【37】Panasonic Media Access での宅外視聴についてのご回答に関連して、【41】ディモーラの「宅外視聴 機器登録完了」メールが来た時点で、宅外視聴の設定もしていないのにおかしいと思って、取扱説明書 P184 ページの記載に従って見ていくと、すでに「宅外リモート接続機能」が「入」になっており、「接続状態」が「宅外ネット接続」と表示されていることがわかりました。そこで無料 WiFi のあるところに出かけていって試行したのですが、セキュリティの甘い無料 WiFi（駅設置の WiFi など）では門前払いを食ってしまって、UBZ1 までリーチできません。さらに試行すると、ソフトバンクのショップの WiFi ではすんなり入っていけて、放送中の番組および録画番組も視聴できるようになりました。そういう意味では、「外からどこでもスマホで視聴」の宣伝文句は誤解を招くことがあります。セキュリティのしっかりした由来のはっきりした WiFi サイトの選択が必要との注意書きがあってしかるべきと思います。
【44】【38】ファイル共有サーバー機能についてのご回答に関連してですが、【25】ファイル共有サーバー機能についてのご回答と【32】ファイル共有サーバー機能についてのご回答が一連の作業であって、【25】のプロセスで設定したパスワードが【32】のプロセスで入力するパスワードと同じという理解がされなかったのが間違いの元で、そのようにすると「コンピューター」欄に DMR-UBZ1 の「USER_area」フォルダーが表示され、パソコンから DMR-UBZ1 の「USER_area」フォルダーへのデータ保存が可能になりました。すなわち、どの段階で設定したパスワードをどの段階で使用するか、【32】のご回答が若干曖昧な表現で、【32】で新規のパスワードを入力してしまったことが問題でした。すなわち、一連の作業の中で関連する作業の ID/PW を具体的に例示でご説明されたら良かったと思います。
【45】【40】音質効果設定についてのご回答に関連して、【25】【38】【44】のファイル共有サーバー機能の設定ができましたので、ファイル共有サーバーに種々のフォーマットの音源をコピーして、UBZ1 の音楽の再生機能を使って再生してみました。
その結果、PCM 音源は 44.1KHz16bit 音源から 192KHz24bit 音源まで再生できました。DSD 音源は 11.2MHzDSD 音源は再生できませんでしたが、先にご教示のとおり 2.8MHzDSD 音源と 5.6MHzDSD 音源は再生できました。
なお、再生設定でリマスター標準、音質効果周波数を 192/176.4KHz に、DSD/PCM 変換周波数を 176.4KHz に、DSD LPF 設定を 5（広帯域）に設定している場合、使用している Oppo 社の Sonica DAC の表示は次のようになります。すなわち、設定の上限値にはなりません。

44.1KHz16bit 音源→88.2PCM
192KHz24bit 音源→96PCM
2.8MHzDSD 音源→88.2PCM
5.6MHzDSD 音源→88.2PCM
したがって、どのような処理をして、結果がどうなるかの因果関係がよく分かりません。疑っているわけではありませんが、実際にアップサンプリングやDSD→PCM 変換されたフォーマットはご確認されているのでしょうか？
DAC 側での表示は、DAC の仕様・設定が影響している可能性が考えられるとうご見解は可能性としてあります。Sonica DAC は S/PDIF で DSD も受けられるので、信号のヘッダー情報が読み取られており、UBZ1 側ではアップサンプリングや DSD→PCM 変換はするものの、最終のフォーマット情報をヘッダー情報に渡していない可能性もあります。本件は DAC を替えて検証してみます。
【46】【25】【38】【44】のファイル共有サーバー機能の設定ができましたので、ファイル共有サーバーに種々のフォーマットの音源をコピーして、PC からの再生やネットワークプレイヤーの再生も行ってみました。
PC の再生ソフトを使用して、UBZ1 の「USER_area」フォルダー内から読み出しての再生は問題なく、上限の 11.2MHzDSD まで再生可能でした。
一方、Sonica DAC のネットワークプレイヤーの機能を使っての NAS としての UBZ1 からの再生では、Sonica アプリの画面に UBZ1 が出てきません。すなわち、ID/PW でガードされていることが問題なのか、専用アプリの限界なのか分かりませんが、UBZ1 が認識されません。
アプリを Kinskey に替えますと、音楽用 NAS の fidata と一緒に UBZ1 が認識されて再生できました。
このようにネットワークオーディオでは、ネットワークプレイヤーと NAS とアプリの相性があって、試聴会等でも認識不能、再生不能がしばしば起こっており、UBZ1 があらゆる場合に音楽用 NAS として機能するとは言えないことはご認識されておいた方がいいと思います。
なお、テクニクスのネットワークプレイヤーとそのアプリでは、UBZ1 はまったく問題ないのでしょうか。

第 13 回質問事項
【47】【40】と【45】のご回答に関連して、DAC の表示が再生設定のとおりに行かないのは DAC の仕様・設定が影響しているせいではないかということで、Sonica DAC から城下工業の SWD-DA20 に替えて同様のことを実施しました。結果は、Sonica DAC と同様に、再生設定でリマスター標準、音質効果

周波数を 192/176.4KHz に、DSD/PCM 変換周波数を 176.4KHz に、DSD LPF 設定を 5（広帯域）に設定している場合、使用している SWD-DA20 の表示は Sonica DAC の場合と同様、次のようになります。

44.1KHz16bit 音源→88.2PCM
192KHz24bit 音源→96PCM
2.8MHzDSD 音源→88.2PCM
5.6MHzDSD 音源→88.2PCM

したがって、どのような処理をして、結果がどうなるかの因果関係がよく分かりません。やはり、アップサンプリングや DSD→PCM 変換されたフォーマットはご回答のようにはなっていないのではないでしょうか？実際に確認されておられるのでしょうか？

【48】【46】アプリを使用した音楽再生についてのご回答に関連して、ご教示いただいたのは、アンドロイド用ですが、iOS 用のものを探しだして、iPad にインストールしたところ、iPad 画面から UBZ1 の共有サーバーの内容が見えるようになり、再生が始まるところまで確認しましたが、うまく再生できないこともあり、本アプリの画面にもそのような注意書きが出てきます。すなわち、操作の反応に不確実なところがあり、使い心地は Kinskey には及びません。

さらに「Panasonic Music Streaming」についてネット検索を行いますと、Panasonic Music Streaming アプリは、ネットワーク内にある AllPlay 対応機器にストリーミング配信を行い、複数の部屋に置かれたデバイスで同時に音楽の再生や操作を楽しむためのアプリであり、対象が Qualcomm®の AllPlay 対応機器に絞られているようです。Sonica DAC のような一般の Airplay や Bluetooth 対応機器であっても十分な機能が発揮できないアプリということになり、汎用性のあるアプリとは言えないのでしょうか？現在の時点では、PANASONIC のレコーダーと AllPlay 対応機器の専用アプリと理解し、Kinskey を使用していきます。

第 14 回質問事項

【49】【47】音質効果についてのご回答に関して、「DMR-UBZ1 をデジタルメディアレンダラーとして、ネットワーク経由で再生した際の音声を確認している。」のではありません。あくまで、DMR-UBZ1 の共有サーバーに収納した音源を音楽再生機能により、S/PDIF 同軸出力させて DAC に送り込んでいるのです。つまり、ネットワーク経由での再生ではありません。同様に録画再生を DAC に S/PDIF 同軸出力させても上限設定の 192KHz にはならず、96KHz で出てきます。音質効果「切」なら当然 48KHz で出てきます。【40】および【47】の質問をもう一度読み直してください。

そもそも「DMR-UBZ1 をデジタルメディアレンダラーとして、ネットワーク経由で再生した際の音声を確認している。」のなら、単にファイルを読み込むだけであって、音質効果の設定は有効になることはないはずですが? 実際に S/PDIF 出力を DAC で受けて表示周波数を確認してみてください。

第 15 回質問事項

【50】【40】、【47】、【49】の質問、ならびに 27 日のご依頼を受けて整理します。ご参照の上、下記質問事項にお答えください。

1)下記のとおり、なぜ上限設定のサンプリング周波数で DAC に送られないか？

2)上限設定のサンプリング周波数を実現するために、他の設定で解除しなければならないところはないか？つまり、他の設定や音質効果設定同士の干渉がないか？

3)1)および 2)を受けて最終的に上限設定のサンプリング周波数で DAC に送るためにはどうしたら良いか？

・再生内容

A）録画再生（マニュアル P86 記載手順）

B）CD 再生（マニュアル P133 記載手順）

C）共有サーバー領域の音楽ファイルの再生（マニュアル P134 記載手順）

・再生ルート

S/PDIF 同軸出力によるオーディオグレードディジタル RCA ケーブルの接続による DAC 経由の再生

＊何度も繰り返しますが、共有サーバー領域の音楽ファイルの LAN 経由でネットワークプレイヤーにより再生することは実施していますが、質問の対象外です。この場合は、共有サーバー領域の音楽ファイルのサンプリング周波数でネットワークプレイヤーの再生限界内においてそのままネットワークプレイヤーにより DA 変換されます。

・S/PDIF 同軸接続環境

城下工業「SWD-DA20」および OPPO 社「Sonica DAC」

＊ともに UBZ1 の S/PDIF 同軸出力を受けて S/PDIF 同軸入力を行う。

＊DAC 表示窓には入力を受けている音源フォーマットの表示機能あり。

＊「SWD-DA20」は単純な DAC のみ、「Sonica DAC」は DAC とネットワークプレイヤーの両機能があるが、ここでは単純な DAC として使用する。

＊「Sonica DAC」は DMR-UBZ1 と同じ LAN 環境にあるが、使用する場合はセレクターを同軸ディジタル入力にする。

＊「SWD-DA20」は単純な DAC で LAN 環境には属さない。

・DMR-UBZ1 本体の設定状況（マニュアル P101）
音質効果設定：リマスター「標準」
音質効果周波数：「192/176.4KHz」
DSD/PCM 変換周波数：「176.4KHz」
DSD LPF 設定「5(広帯域)」
＊マニュアルのリ.マスターなる用語の訳はおかしい。
・その他の接続機器
HDMI 端子：SHARP 亀山モデル、AV アンプ接続なし
USB 端子：接続機器なし
LAN 端子：ルーター
TV アンテナ端子：BS・地デジアンテナ入力
TV への BS・地デジアンテナ出力
・再生時の DAC 表示窓の表示
A)録画再生
96KHz（上限設定値の 192KHz にならない。）
音質効果設定「切」なら 48KHz
B)CD 再生
88.2KHz（上限設定値の 176.4KHz にならない。）
音質効果設定「切」なら 44.1KHz
C)共有サーバー領域の音楽ファイルの再生
44.1KHz16bit 音源→88.2KHz PCM
（音質効果周波数上限設定値の 176.4KHz にならない。）
192KHz24bit 音源→96KHz PCM
（音質効果周波数上限設定値の 192KHz にならない。）
2.8MHzDSD 音源→88.2KHz PCM
（DSD/PCM 変換周波数上限設定値の 176.4KHz にならない。）
5.6MHzDSD 音源→88.2KHz PCM
（DSD/PCM 変換周波数上限設定値の 176.4KHz にならない。）
・再生時の DAC 受けサンプリング周波数にこだわる理由
1)リマスター効果を十分に発揮させたい。
2)DAC に外部クロックを入れるための DAC 受けサンプリング周波数確認が必要である。
上記質問の 1）2）3）のうち、「2)上限設定のサンプリング周波数を実現するために、他の設定で解除しなければならないところはないか？つまり、他の設定や音質効果設定同士の干渉がないか？」が重要ではないかと考え、マニュアルを子細に点検したところ、音声設定の光・同軸ダウンサンプリング

（マニュアル P175）が問題ではないかと考え、当たってみたところ、光・同軸ダウンサンプリングが有効になっていました。これを「切」にしたところ、すべて上限設定どおりになり、DSD 音源は 176.4KHz の表示になりました。
そこで質問を替えます。
1)音質効果周波数および DSD/PCM 変換周波数の上限設定は音声設定の光・同軸ダウンサンプリング設定の制限を受ける。
2)このことは、再生設定の音質効果設定と音声設定の光・同軸ダウンサンプリング設定の両方に注意事項として明記すべきではないか？
3) ともに音質にかかわる設定事項をマニュアルの離れたところに記載していることによりこういったことに気がつきにくくなっている。マニュアルの構成を見直すべきではないか。
4) DSD LPF 設定の LPF はローパスフィルターの意味で、5(広帯域)はローパスフィルターの周波数を高く取っているという意味か？また、マニュアルのリ.マスターなる用語の訳は日本語としておかしい。